

⑧区の現状と課題及び令和5年度の主な取組

江南区の現状と課題

- 40～50 歳代の受診率が低く、特定健診の受診率向上のための取組が必要。
- 要介護認定率が市平均と比較して高くなっていることから、介護予防の取組を充実させることが必要。
- 健診の結果、中性脂肪、血圧値、血糖値が要指導以上に該当する人の割合が市平均より高い。また、運動習慣のある人の割合が市平均より低い。

特定健診受診率向上対策

- 事業目的：特定健診の受診率向上のために、健診の重要性の周知と受診勧奨を行います。
- 事業概要：健診連続未受診者等への電話による健診受診勧奨を行います。
区内小中学校において保護者向けの健診受診勧奨を行います。
食生活改善推進委員と連携し、保健事業での減塩指導や健康レシピ普及を通して本人の生活習慣改善の意欲を高め、健診受診の重要性を普及します。
ふれあい・ささえあい交流事業の健康コーナー運営を通して受診勧奨を行います。
- 目標値等：令和5年度 健診受診率 60%

30 歳代限定セルフケア健診

- 事業目的：健診の受診機会が少ない 30 歳代を対象に簡易血液検査を実施することで、自らの健康意識を高め、40 歳以降の特定健診受診への動機づけを行います。
- 事業概要：区内の健診を受診する機会のない 30 歳代を対象に郵送検査キットによる簡易血液検査を実施します。問診票と検査結果により、健康の維持・増進のための各種保健事業の紹介と特定健診の受診勧奨を行います。
- 目標値等：30 歳代 受診者数 80 人

いきいきヘルシー講座

- 事業目的：地域の茶の間、老人クラブ、地域コミュニティ協議会の集まりにおいて高齢者の健康保持増進を図ります。
- 事業概要：区の健康課題を共有した多職種（保健師、栄養士、歯科衛生士、食生活改善推進委員、運動普及推進委員等）とともに、地域の茶の間において健康レシピの普及、フレイル予防を目指した運動、栄養、歯科をテーマに健康教育を実施します。
- 目標値等：地域の茶の間等 30 か所で実施

血管イキイキ！大作戦～動脈硬化を防ごう～

- 事業目的：生活習慣病に着目した教室の実施により、生活習慣病予防や、運動や食生活などの生活習慣の改善を図ります。
- 事業概要：特定健診の結果、血圧やコレステロール等の血液データが保健指導判定値以上で医療機関を受診していない人や希望者を対象に、生活習慣病予防教室を年6回実施し、生活習慣の改善及び重症化を予防します。
- 目標値等：教室参加者数 60人

運動でヘルスアップ

- 事業目的：生活習慣病予防と健康づくりのため、運動をきっかけとした生活習慣の改善と健康増進を図ります。
- 事業概要：運動を始めてみたい方、生活習慣病を予防したい方を対象に、日常で継続できる運動をテーマに教室を年12回実施し、運動を始めるきっかけづくりと運動の定着化を図ります。
- 目標値等：教室参加者数 100人

※一部、国保データ等、掲載データ以外のデータに基づき取組を検討しているため、掲載データの傾向とは異なる場合があります。